



## 駅伝大会、36チームが健脚競う

第11回八郷駅伝競走大会が11月30日に開催され、中学生と一般合わせて36チームが参加、初冬の八郷路に健脚を競いました。

コースは男子が中央公民館から太田の善光寺前、下青柳入口を折り返す8区間30.6km、女子が中央公民館から下青柳入口を折り返す8区間17.6kmです。選手は沿道からの盛んな拍手を受け、力いっぱい走り抜きました。その結果、一般男子は八郷ランナーズ、中学男子は園部中A、中学女子も園部中Aがそれぞれ優勝を飾りました。(結果はP15に掲載)



# 交通ルールみんなが守れば事故はない



ダミーを使った事故のようすを見ながら説明を聞く小学生のみなさん

まったく当然のことばかも知れませんが、それがなかなか守れないために、悲惨な交通事故がなくならないのです。車社会といわれる現代、車は一家に一台から一人に一台となりつつあり、私たちの生活の中で大切な足としてなくてはならないものとなっています。しかし、車はルールに反した乗り方をするとたちまち走る凶器に変わります。

道路がよくなり、車の性能はどんどんアップし、アクセルを踏めば素直にスピードが上がります。ちょっとした運転ミスが重大事故につながります。最近では、車への安全装置の装着がすすんでいます。最近では、車への安全装置の装着がすすんでいます。最近では、車への安全装置の装着がすすんでいます。

交通ルールを守ることは、車ばかりに求めるものではありません。歩行者や自転車それぞれにルールを守ることが自分自身の命を守ることにつながるのです。

昨年の交通白書から注意すべきところを探り、事故が多くなる年末年始、いつそう気持ちを引き締め、無事に新しい年を迎えましょう。

## 茨城県の交通事故発生状況

平成八年の茨城県全体の交通事故発生状況は、発生件数や負傷者は増加していますが、死亡者は昭和六十三年以来八年ぶりに四百人の大台を切り、平成五年の四百九十四人をピークに平成六年から三年連続して減少しました。

しかし、死亡者の全国順位では「ワースト第七位」、人口十万人当たり死亡者数は「ワースト第二位」、自動車一万台当たり死傷者数は「ワースト第三位」と、依然として不名誉な死亡事故多発の全国トップテンの中に入っています。

茨城県はなぜいつもこのような不名誉な位置にあるのでしょうか。本県の交通環境を見てみますと、道路の全路線を合わせた延長は、全国都道府県の中で北海道に次いで二番目の約五万四千キロの長さをもっています。このなかには、広く整備された路線もありますが、狭い道路もかなりの部分を占めています。また、県内の原付・小型特殊を含めた車両の保有台数は、全国十番目の二百四十七万台になっています。

しかし、このように条件がそろっているから事故が多いのは当然だという訳にはいきません。道路の状況に合わせて決められているルールを守り、それぞれが注意を怠らなければ事故は起こらないはずなのです。

ちょっとした不注意や、「大丈夫だろう」という判断の誤りが事故につながってきます。車を運転していて一瞬「ひやっ」とした経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

# 茨城の

## 交通マナーは？

交通事故が多い背景には、道路事情や車の保有台数が多いという環境的な要因もありますが、交通マナーやモラルも大きくかかわっています。ほかの県などと比べた茨城の交通マナーは、決してよいとはいえないようです。

車を運転される方は、車で走っていてこんな光景を見ませんか。

- ① 必要のないのに不用意にスピードを出す。
  - ② 進路変更の合図を出さない。
  - ③ 赤信号になっても右左折を続ける。
  - ④ 路上駐車が多い。
  - ⑤ 一時停車場所で止まらない。
- このような基本的なマナーの欠如が事故を増加させる大きな要因になっているのです。

# 死亡事故

## 四割は無謀運転

昨年の県内交通死亡事故の原因を見ると、発生件数三百六十八件のうち最高速度超過（八十六件）酒酔い運転（二十八件）、右側通行（二十六件）、信号無視（十一件）の四つの原因が約四割（四一％）。死亡事故はこのようにいわ

ゆる「無謀運転」が高い割合を占めています。

事故の際のシートベルト着用状況の調査によると、四輪車乗車中の事故による死亡者の約八割（七七・五％）が、「シートベルトを着けていなかった」という結果がみられました。さらに、事故を起こしても負傷しなかった人の約九割（八七・四％）が「シートベルトを着けていた」というデータを合わせてみると、シートベルトを着けていれば事故になっても死亡にまで至らず、軽傷ですむ、負傷しないうすむ確率は高くなります。このようにシートベルト着用の有無が生死の明暗を大きく分けていることがわかります。

## 運転歴5年以上

## 油断や慣れは危険

八郷町の過去十年間の交通事故の推移をみると、平成五年をピークに件数、死者、負傷者とも減少していますがまだまだ高い数字を示しています。

昨年に町内で起きた百五件を遠反別の発生状況からみると、漫然脇見、前左右不確認など安全運転義務違反が事故原因になっています。（表2参照）また、運転経験年数と発生件数との関係を示したデータ（図2参照）では、五年以

図1 茨城県の10年間に於ける交通事故の推移

昭和62年を100とした指数グラフ

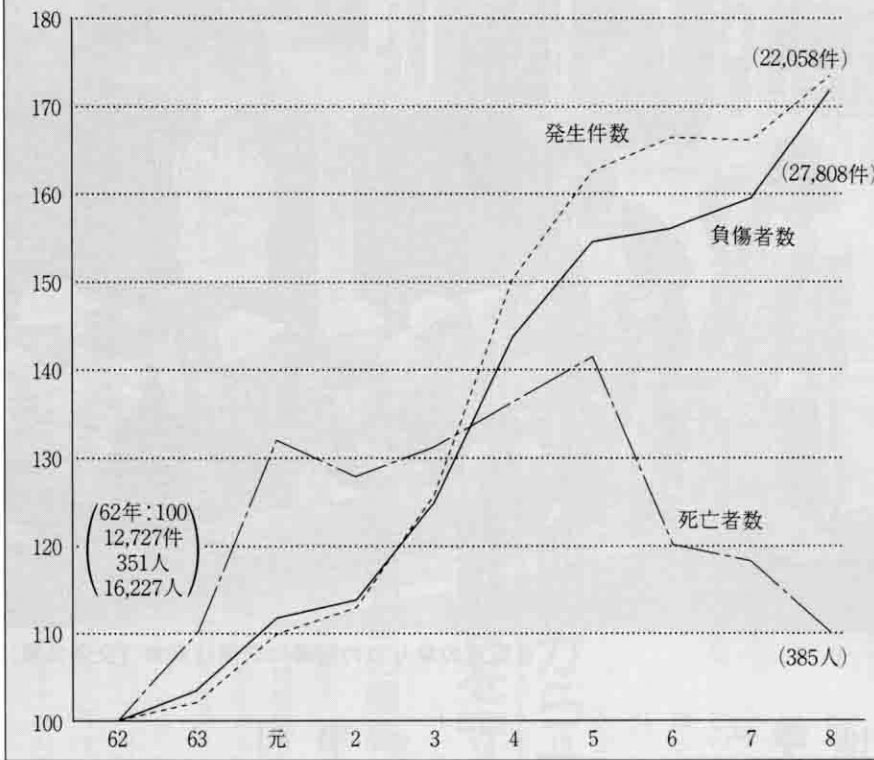


表1 八郷町の交通事故10年間の状況

年	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8
件数	81件	87件	71件	86件	148件	155件	191件	151件	137件	105件
死者	2人	2人	4人	5人	3人	7人	8人	5人	4人	6人
傷者	106人	106人	77人	122人	180人	181人	221人	173人	151人	116人

表2 平成8年違反別事故発生状況(八郷町)

違反種目	件数
違反種目	23
ハンドルの操作	2
ブレーキ操作	6
漫然	9
脇見	14
動静不注意	11
前左右不確認	26
後方不確認	4
安全速度	8
予測不適	2
その他違反	23
合計	105



上の運転経験者による事故が七十件で全体の約七割を占めています。経験からくる慣れや油断が事故につながっていることが多いと考えられます。運転経験が長くなりベテランといわれるようになればなるほど、初心者マークを付けていたころの慎重さに加え、ゆとりをもった運転に心がけたいものです。



自転車の乗り方の指導に表情は真剣（交通公園）

八郷町のことし十月現在の交通事故発生件数は、昨年同期と比べると件数では八件増えて九十五件、負傷者数は十二人増の百九人、死者は一人減っていますが、すでに四人の方が亡くなっています。

県全体としても昨年に比べ死亡事故が多発していることから、全県下に死亡事故多発警報が発令されました。

そうした中で、これから町の交通安全推進活動を積極的にすすめていくために、町内の関係機関、団体で組織された八郷町交通安全推進協議会が発足しました。

# みんなで参加 協力して交通事故防止

## 町民一丸となつて 事故増加に歯止め

交通安全推進協議会は、町内二十一の団体、機関の代表者など三十六名の委員から組織され、十月二十八日に発足しました。

町民が一丸となつて、増え続ける交通事故に歯止めをかけるために、交通安全運動推進の中心的組織として活動していくことになっています。

## 交通安全家庭や 地域でも話し合い

町では、石岡警察署や安全協会八郷支部、女性ドライバー友の会などと協力しながら、春、夏、秋の交通安全運動期間中に交差点の立哨、啓発活動を行ってきました。

春の入学シーズンには、小学校新入児童の安全指導や通学時の立哨指導、また、夏は暑さによる疲れや気のゆるみなどによる過労運転の追放、秋には高齢者の事故防止や行楽シーズンの事故防止など

それぞれの運動期間中、歩行者やドライバーに事故防止への協力を呼びかけました。

さらに年末の運動期間は、死亡事故につながる飲酒運転の追放・高齢者の交通事故防止・シートベルト着用の徹底を重点にすすめました。新しい年を迎え、事故の増加を抑えるには、日ごろからみなさんの家庭や地域、学校、職場で交通安全について話し合い、事故の怖さを認識していただくことも大切なことです。

## 施設面からの 安全対策

交通安全施設面の対策としては、危険な場所にカーブミラーやガードレールを設けたり、通学路の危険箇所には標式を設置したりして、通行者の安全確保に努めています。

また、各学校単位でもPTAと協力して通学路の危険箇所点検を行い、注意を促す標示などをして子どもたちの安全な通学に万全が期されています。また、歩道は道路改良と併わせすすめています。



老人大学では事故の実験を見ながら講義



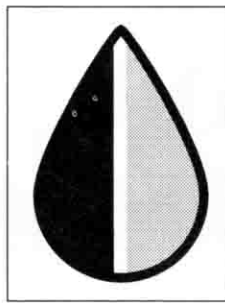
▶八郷高校生会も協力して安全運転を呼びかけた秋の交通安全運動

# 自分の命を守るために

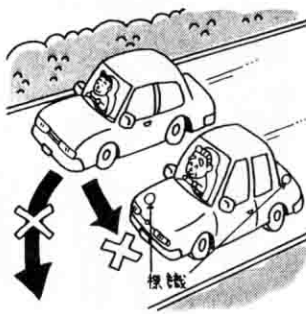
いま私たちのまわりの交通環境は危険をたくさん含んでいます。交通安全教育をすすめる中で、

小中学生やお年寄りのみなさんが歩行者あるいは自転車利用の立場で、危険を予測したり避けたりするための正しい判断・行動能力を養っていくことは、危険が多い交通環境の中で、自分の命を守るために必要なことです。

安全運転中央研修所の交通公園施設を利用して、小学校児童や高齢者を対象に行っている交通安全研修は、こととして三回目になりました。



高齢運転者標識



※高齢運転者標識は縦一八・五、横一二・二センチで、右側が黄色、左側がだいだい色です。

す。正しい自転車の乗り方や車の怖さなどを体験を通して学ぶ中で、交通安全に対する意識を高めるために大きな効果をあげてきました。

下図は、九月末の県内交通事故死者を年齢別にあらわしたものです。高齢者層の割合が高くなっています。

危険な車社会の中では、高齢者自らも周囲に注意を払い、事故から身を守ることが大切なことからお年寄りが集まる老人大学などの機会に、交通安全についての講話を取り入れてきました。

## 10月30日から一部施行 高齢者を守る道路交通法

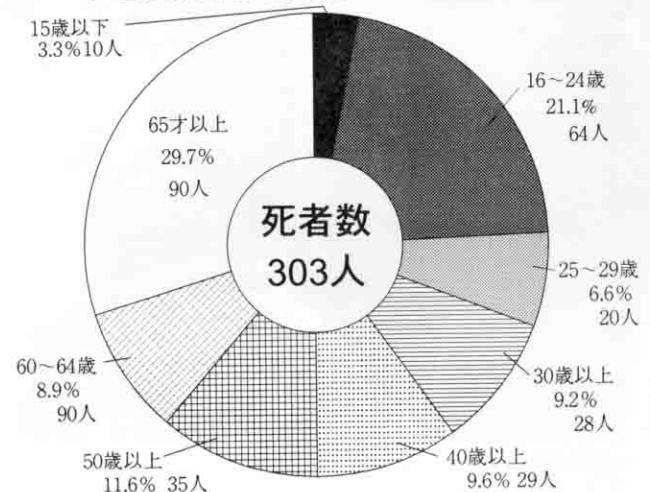
### ■高齢運転者の標識

七十五歳以上の高齢運転者で、とっさの反応がにぶるなど、体の機能低下を感じて、自分自身が運転に影響があると判断したときには、高齢運転者標識(上図)を自動車の前面と後面に付けるように努めなければなりません。ただし、罰則はありません。また、周囲の運転者は、この標識を付けた車に、幅寄せや割り込みをしてはいけません。

### ■高齢歩行者を守る

高齢者の事故死者のうち歩行中の死者が約半数を占めています。今回の改正では、道路を横断しようとしている高齢者から申し出があったときなど、近くに居合わせた人は、高齢者が安全に横断できるように誘導・合図するなど補助に努めなければなりません。また、車両の運転者は、一時停止や徐行して、その横断を妨げないようにしなければなりません。

年齢別死者数 (平成9年9月末)



## 守ります地域の安全110番 1月10日は110番の日

110番は事件・事故の通報の際に、皆さんと警察を、結ぶホットラインとして、役立っています。しかし、この大切なホットラインがいたずらや間違い電話、急を要さない相談などで長時間ふさがっていると、緊急の場合に110番がかからないといった事態になりかねません。皆さんのお役に立つ110番として「正しく使おう110番」にご協力をお願いします。

- 110番通報はあわてず、おちついて
- ① 何があったか (事件、事故)
  - ② いつあったのか (時刻)
  - ③ どこであったのか (近くの目標物)
  - ④ 犯人は (人相・車種・逃走方向)
  - ⑤ 被害の状況、事故のようす
  - ⑥ あなたの氏名・住所・電話番号
- 携帯電話から110番をされるときは、停車するか立ち止まっておかけください。

## 困りごとかけて安心#9110番

(困りごとの電話は、#9110番にかけてください)

# ふれあいまつり

第8回八郷ふれあいまつりが11月9日(日)、役場前駐車場及び中央公民館で盛大に開催され、さまざまな催しが行われました。また柿岡城まつりが柿岡商店街で、健康まつりが八郷町保健センターで同時開催され、会場はたくさんの人で賑わいました。その様子を写真で一部ご紹介します。



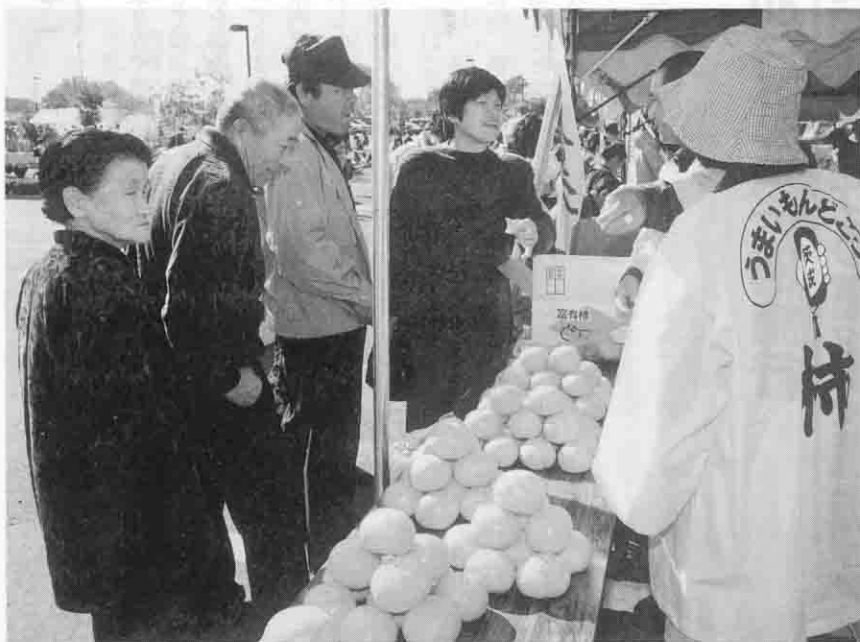
▲ミニ四駆大会「早い!もう通り過ぎちゃった」



▲ハングライダー体験フライト



▲健康まつりで血圧チェック



▲「八郷の柿はおいしいよ」

▼ステキな笑顔の松居直美さん  
楽しい歌謡ショーでした。



▼「まだまだ若い者には負けなぞ」「お父さんがんばって」





▲「ボクたち、元気なチビやっこ。古風なおヒゲも決まってるでしょ」

# 八郷

八郷町公民館について

## カメラルポ



▲フリーマーケット「何か掘り出し物ないかな」



▲柿小鼓笛隊パレード

▼「餅よ、とんで来ーい」



▲お殿様は餅まきに大忙し

▼「お猿さん、じょうずね」



# 随所に出てます芸術的センス



田尻早苗先生

今月は、有明中学校の田尻早苗先生を訪ねました。

先生は藤代町から通っています。担当の学科は美術と家庭科、部活は卓球部を受け持っています。

中学生のころは考古学に興味があつたので、考古学者になることも考えていたそうです。しかし、大学に入ると美術の道をまっしぐら、そして教員としてのスタートを切ったのが有明中学校でした。

「校舎から見る校庭の木々が四季折々に変化し、まわりの風景に重なってみごと。絵になります」八郷町の面積の広さに驚き、学校周辺の風景の素晴らしさを印象としてあげていました。

先生は、美術の中でも陶芸が専門ということもあって、休みの日など地元で開かれる講座に参加し

て腕を磨いているそうです。

「先日学校の行事で野焼きの方法で焼物をやりました。生徒たちはとても楽しくやっていたようです」PTAなどの熱心な協力もあり、満足できる成果が得られたことにたいへん感激していました。

「生徒たちはみんな穏やかでのみ込みが早いです。みんな本質的に素直なのでそれぞれの性質をうまく伸ばしてあげられるようにしたい。しかし、これだけは譲れないということや社会の中で言うべきことははっきり言います。」と抱

負を語ってくれました。

卓球部のみなさんに先生についてお聞きしましたので紹介します。  
Q 先生のいいところやすごいなところは何？

A 授業が終りの時間になっても延長してよく見てくれます。絵はさすがにうまい。

Q 厳しいところは？

A 授業も部活も手抜きは許さない。いじめなどにも厳しい姿勢。

Q 先生の失敗談とかは？

A 授業に出る教室を間違えたり、持っていく物を間違えたりとけっこうそつかしい面もあります。人間的でいいですね。

Q 卓球部の目標は？

A ことしは県南大会にシングルで一名出場しましたが目標は団体で出場すること。

Q 先生にぜひお願いしたいことは？

A 初任者の研修などがあつて忙しいですが、部活の練習をもっとみてほしい。

授業などでは厳しい視線をひしひし感じるの、もうすこしソフトに。

有明中学校卓球部の代表4人



うすこしソフトに。

## AET (英語指導助手)

## イングリッシュコーナー

今月はツリン先生が日本とアメリカの学校のしくみの違いなどについて書いてくださいました。日本語訳は柿岡中学校の田村実枝子先生にお願いしました。

On my first day at school I met the school principal, teachers, and students. After a couple of days it occurred to me that I hadn't met anyone else. Most Japanese wouldn't even give this situation a second thought. But to me, it was very different and interesting. On a first day in an American school, not only would you see teachers and students, but also academic and health counselors, cafeteria workers, and custodians. Sadly, many big city schools even security guards. These people are needed because American students are not expected to serve lunch or clean their schools. Academic counselors are needed to advise students on what classes to choose for each semester. They also inform students on academic scholarships and awards. Students can talk to health counselors about peer pressure or family problems.

American schools offer more specialized services, whereas in Japan students tend to rely on their teachers. Three months into teaching I have seen the benefits of the Japanese system. The relationship between the teachers and students is very close. Also, students are less likely to litter or vandalize their school if they have to clean it. American students don't have that kind of investment in their school.

Trin Dang

学校に行った最初の日に、校長先生、他の先生、そして、生徒たちに会いました、それから数日の間「それ以外の人たち」に会うと思って期待していたのですが、会いませんでした。ほとんどの日本人には、このことは全く問題にならないことのようにですが、私にとっては、目新しく興味深い体験でした。米国の場合、学校が始まる第一日目は、生徒と先生が集まるだけでなく、学習カウンセラー、保健カウンセラー、キャフェテリア職員、用務員なども集まります。多くの大規模校には、警備員もいます。これはむしろ悲劇的なことですが、これらの人々がいるのは、米国では生徒自身が食事の準備をしたり、学校を清掃するというやり方ではないからです。学習カウンセラーは、その学期ごとにどの授業を選択すればいいかを生徒にアドバイスします。奨学金や、賞などについての情報も与えます。保健カウンセラーには友だち関係での問題や、家族での問題を話すことができます。

米国の場合、より専門なサービスを提供することに力点がありますが、日本の場合生徒は先生に頼っています。3か月働いてみて、日本のシステムにもよいところがあることがわかりました。先生と生徒の関係がとても親密です。また、生徒たちも自分で清掃しなければならなくなると、ゴミを散らかしたり、ものを壊したりすることも少なくなります。米国の生徒は、学校のためにそういうことをすることはありません。

ツリン ダン



# 公民館まつり

## みづごとな展示や発表で賑う

第十五回公民館まつりが十月六日（土）と七日（日）の二日間にわたり、中央公民館を会場に開催されました。同まつりは公民館講座や同好会などで学んだ一年間の成果を発表するもので、多彩な催しが行われ、たくさんの来館者で賑わいました。

講座室では期間中、水墨画、陶芸、絵てがみ、パンフラワー、籐工芸、ハーブ、短歌、俳句、パッチワーク、木目込み人形などの講

座や同好会、及び婦人学級生による作品が展示されました。これらの作品は、日ごろの公民館活動などで学び作成した力作ばかり。どれも努力と上達の跡がうかがわれ、訪れた人たちは足を止めて見入っていました。

六日、大講堂では子ども向き映画が上映され、会場は家族連れで賑わいました。

七日には、大正琴・オカリナ・コール有明・太極拳・社交ダンス

それぞれの同好会生がステージで学習の成果を発表し、盛んな拍手を送られていました。

また、午後からは女優で冒険家の和泉雅子さんを講師に迎えた文化講演会が行われ、会場

の皆さんは熱心に話を聞いていました。

体験コーナーでは、来館者が竹細工講座の講師の指導で竹トンボ

作りや竹馬乗りに挑戦。一方、パッチワーク同



好会ではお手玉遊びを行い、子どもたちに懐かしい遊びを楽しんでももらいました。また、英会話同好会でも英語でゲームを楽しんでもらうなど、来館者の興味を誘いました。

一方、ロビーでは古本市が開かれ、皆さんから寄贈された古本を十円均一で販売しました。また、毎年恒例の講座生、同好会生による作品バザーも行われ、好評のうち短時間で売り切れてしまいました。その他、昼食時には、食生活改善推進員の皆さんが混ぜごはんやとん汁の販売を行い、大好評でした。

生涯学習の中心的役割を担う公民館は確実に町民の皆さんの学習の場として定着してきています。皆さんも趣味づくり、仲間づくりに、そして潤いある生活を送るため、公民館をご利用ください。

花と緑の楽園



茨城県 フラワーパーク

## 華麗に 洋ランフェア '98



昨年の洋ランフェア

「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは、新春の催し物として、1月10日から18日まで『洋ランフェア'98』を開催いたします。

期間中催される『洋ラン展』では、その華麗な容姿から「洋ランの女王」とも呼ばれるカトレアをはじめ、ファレノプシス（胡蝶蘭）、シンビジウム等の洋ランを多数展示するとともに、随時即売もいたします。

1月11日の13時30分からは、『洋ランの楽しみ方教室』と題した園芸教室を開催いたします。洋ランは一般的な草花と違い、管理などに気を使う花ですので、

園芸教室を受講し、今後の洋ランの手入れの参考にしてください。

1月18日の13時からは、『特別園芸教室』として、洋ランの手入れ。楽しみ方の講話を、13時30分からは、お客様参加による『洋ランオークション』（セリ売り）を開催いたします。家族そろって楽しめるフラワーパークへぜひどうぞ。

開園時間は午前9時から午後4時（入園は午後3時30分）までです。

なお、詳しくは、☎0299（42）4111までお問い合わせください。

## 田の字

農家の主屋間取りは、田の字型になっていて、と小・中学校の授業で聞いたことがあるでしょう。アグリハナ・オカッテ・ザシキ・ナンド（ヘヤ）の四部屋が、上から見ると、田の字に整然と配置されているからです。建築学の専門用語ではこれを、整型四間取りの平面構成、と称しています。このような形になったのは、ほぼ元禄時代以降のことと考えられています。前回の大黒柱の出現も同時代でしたね。その通り、田の字型の間取りと大黒柱は密接な関連性を持つているのです。部屋を間仕切

に神棚をお祀りします。いかにも頼りになる印象ですね。

それでは田の字型になる前の姿はどうだったのでしょうか。ここでも重要な説明資料になってくれるのは、焼失した羽生家住宅の主屋です。広い土間と床、上部分の境に立つ柱は、と見れば大黒柱が立つ筈の位置ではなく、左手の大戸口に近いところにあるだけです。何と広々とした開放的な空間でしょう。奥まった右手にザシキ・左手にナンドの入口が見えます。この広い板敷の空間をヒロマと称します。このような三室構成を「広間型」と言います。この姿こそ元禄時代以前の古民家の典型と考えられるものなのです。広い土間に架かる梁組も当然ながら簡素なつくりになります。豪壮な梁組は矢張り大黒柱が無ければ出来ません。さて、「広間型」から「整型四間取」への変化は、ほぼ元禄時代以後と考えられるのですが、そうなるための理由が考えられます。全ての技術は必要から生れるのです。広い板敷の空間は、多勢の寄り合い事にはうってつけです。大きな利用価値があったこ



羽生家の土間境

とでしよう。長い戦乱のあと、農村復興の最中にはここで様々な話し合いをしたのでしよう。家族の不便さは我慢せざるを得なかったのです。しかし、生活が安定するに従って家族のあたたかさを求めるようになります。ヒロマを分割して、アグリハナとオカッテに分けるようになります。こうすれば不意の客があってもアグリハナで接待し、家族は間仕切を隔てたオカッテにすることができるようになります。その一方で多勢の寄り合いは神社の拝殿が使われるようになったようです。大きな拝殿の出現は、江戸時代中期以降の農村生活を変えた要素なのです。

## ●最近気になる病気

### 活性酸素とは

石岡市医師会病院

内科 藤井茂 樹医師



人はなぜ時間と共に老化してゆくのでしょうか。脳神経、内分泌、免疫という総合システムが高齢化に伴い衰えることこそ老化の原因といわれていますが、それぞれのシステムがなぜ衰えるかはそれを構成する細胞の死滅が原因といわれています。

最近この細胞死の最も大きな原因が活性酸素だといわれています。

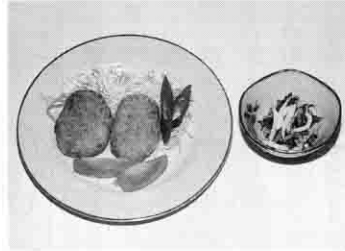
のタンパク質や核酸も酸化し機能が異常や変異をおこします。最近ではこの活性酸素があらゆる病気の元凶だといわれています（脳卒中、心臓病、肺繊維症、肝炎、アトピー性皮膚炎等）。また、遺伝子を障害することからガンも活性酸素が原因に関与しているといわれています。

体には悪いといわれても困ってしまいますが、確かに酸素は生物が生きていくうえに必要不可欠な物質です。しかし一度体内へ取りこまれた酸素が一部化学的に不安定な物質（活性酸素）に変化してしまうのです。活性酸素は物を酸化（錆びさせる）能力が強いのです。色々な物を酸化させますが、特に細胞膜の中に含まれる脂質を酸化して過酸化脂質になると細胞膜の機能障害をおこします。また、細胞内

それではどうすればこの活性酸素の害から身を守ることができるのでしょうか。その防御物質をスカベンジャー（抗酸化物質）といいます。最近話題になった赤ワイン茶に含まれるカテキン等もスカベンジャーの一種ですが、元来身体の中にはS・O・Dという酵素やビタミン、タンパク質による防御物質が存在しています。その機能を活性化させるためには、バランスのとれた食事、ビタミン、ミネラルの補給であることはいままでありません。

# わたしの手料理

おからコロツケと  
大根の葉いため煮



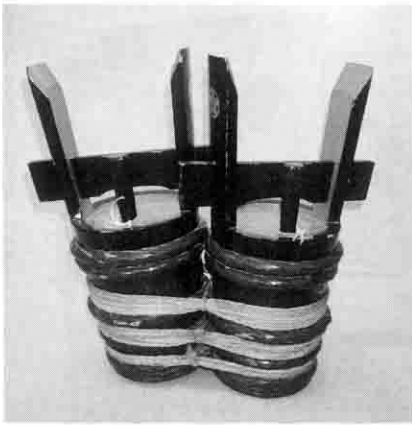
食生活改善推進員 小松崎静江 (川又)

〔コロツケ〕○材料 おから 200g 玉ねぎ中1個 人参小1本 ひき肉 300g ジャがいも大1個 バター大1 サラダ油大1 塩・こしょう少々 小麦粉20g 卵1個 揚げ油・プチトマト・パセリ適量 パン粉用おから200g ○作り方 ①玉ねぎをみじん切りにしてバター、サラダ油で炒め、透き通ったらひき肉、人参を加え、塩・こしょう・おからを入れ、少し炒める。広げてあら熱をとる。②ジャがいもは蒸すかゆでるかして水分をとばし皮をむき潰す。③①と②を合わせ、俵形にまとめる。④パン粉用おからをフライパンに入れ、弱火にして炒りつける。焦がさないこと。⑤小麦粉・溶き卵・おからの順に衣をつけ、中温の油で色よく揚げる。〔いため煮〕○材料 大根の葉 150g 油揚げ1枚 しょうが1かけ 油少々 だし1/2カップ 調味料・しょうゆ・砂糖適量○作り方①大根の葉は水洗いして水気を切り、軽く塩を振ってから、熱湯でぎっとゆでる。それを水にさらして軽く絞り、小口切りにする。②油揚げは油抜きをして、千切りにしておく。③鍋に油を入れて火にかけ、油をなじませて余分な油を捨て、①の大根の葉を炒め、だしを加えて少し煮る。さらにしょうゆ大さじ1、砂糖少々、味噌を加え、煮汁がほぼなくなるまで、いりたきをする。火から下ろす前に、油揚げとしょうがの千切りをさっと混ぜる。

## 農村資料館

# 八郷の民俗資料

樽たもと



ツノダル

②

樽は古くから、海産物や漬物・酒・味噌・醤油・油などの貯蔵・運搬に用いられていた容器で、桶に蓋が固着した円筒状を呈する木製品である。その語義については定かでないが、「タル」という呼称は朝鮮語とする指摘もあり、交流が盛んであった奈良時代のころ、その名称とともに朝鮮半島から渡来したとする説が強い。

霊亀元年(七一五)以前の撰進とされる『播磨国風土記』揖保郡萩原里の条に、息長帯日売命(神功皇后)が征韓の帰途に持ち帰った水を貯える容器の説話が記されており、これが渡来説の背景になっているようである。

平安期に移り樽の需要が増えるにしたがい、朝廷でも『延喜式』の「諸国年料供進」の中に、一五か国(伊賀・伊勢・

尾張・参河・遠江・駿河・近江・美濃・若狭・加賀・丹後・播磨・紀伊・阿波・伊豫)を記し、樽の供進を規定してある。

当時の樽が漆器であったのは、漏水を防ぐためだったのであろうが、その製法形態は詳らかでない。

和風の樽が盛んに用いられるようになるのは中世末期のころからである。桶や樽の「たが締め」技術の進歩と相俟って、醸造業の発達にもなって製品の貯蔵と運搬のために需要がますます増加し、桶職人から分離した樽作りの専門職である樽職人までも生まれた。

樽が広く普及するのは近世に入ってからである。用途によっていろいろな種類の樽が作られるようになったが、同じ酒樽でも特徴的なものに「ツノダル(角樽)」と呼ばれる樽がある。

## おが家GIRTY



柿岡

中山輝美ちゃん

父 寿之さん 母 みち子さん  
平成7年12月31日生まれ

●家族からの一言

近所のアヒルに草を取ってきて食べさせるなど、動物が好きです。最近、自転車の後ろに乗って出掛けるのがお気に入り。散歩が好きな女の子です。

優しく思いやりの持てる子になってほしいです。

ツノダルは、角のように大きくて高い二本の柄をつけてあるので柄樽ともいい、柳樽とも呼ばれていた。その起源については、古く河内国の金剛寺で醸造した天野酒を盛るのに使用した天野樽とする説があるが、これは片手桶のような形であったというから、角樽は近世に江戸で広く普及した柄樽から分化したものが主流のようであり、小売酒屋がもっぱら得意先への配達に利用していた。もとは実際に酒を入れて贈ったが、今ではまったく飾り物となり、ほとんどが貸樽で、これを酒屋が用意しておき、客の注文に感じ別に酒切手・瓶詰めなどを添えてとどけている。今でも地域によっては、この習慣が継承されて婚礼や祭礼・上棟式などにこの角樽が飾られている。

町文化財保護審議会委員 西宮一男



山崎 本澤友子 (23)



ウ テ ナ



真家 藤崎早苗



山崎 奥村友紀 (11)



上林 めかがりょうこ

# みんなのひろ場

## 私もひとこと

### 先

日公民館へ映画観賞に行ってきました。「花いちもんめ」を見て、老人性痴呆症アルツハイマーとなつて、家族たちの苦勞がいかにたいへんかということが、しみじみ考えさせられました。だれもがいつかは老いていき、家族や病院の世話にならなければならぬのが、今の老人社会のこの世の中なのです。もっと大ぜいの人に見ていただきたいのです。感動して涙がとまりませんでした。

上林 平のぶ子

### 文

化祭に生涯学習の作品を出品。(中略)先生の優しく熱心なご指導により、条幅を書きました。戦中で紙もなく学校時代習字などできなかった人ばかりです。上手、下手は二の次として全員出す事ができました。初

## 習字コーナー

評 玄潮会 森 浩亭

恋瀬小二年 はせがわあさみ

二年んえほ  
はせがわあさみ

自然にゆつたりと書けました。

柿岡小四年 滝田晃子

走り馬  
滝田晃子

やさしく書いて、明るい作品です。

ペンネーム「ピザ」

めてできた感激の一幅は誰もが思い出さずとも宝物と思います。関係者の皆様、先生ありがとうございました。

月岡 萩原照子

### や

さと広報十月号表紙の所で町内では十八件の農家がと書いてありますが、あの件でよろしいのでしょうか。お伺い致します。大増 入江勇

✿ご指摘のとおり十八件の「件」は誤りで、正しくは「軒」でした。訂正するとともにおわびいたします。また

以後十分に気をつけたいと思います。

これからお気付きの点がありましたら、お知らせください。 広報係

### 初

めて、洋ナシ(ラ・フランス)を生で食べました。おいしかったです。八郷にはあるのでしょうか。

- 秋風は少しさみしくそつと吹く  
有明中一年 山本弓美
- 風の色葉っぱの色も秋の色  
有明中二年 磯山綾子
- 風が吹きイチョウの葉っぱ落ちていく  
有明中二年 岡本健太郎

全問正解者のなかから  
抽選で図書券が当たるよ

# 広報クイズ 117

3つの答えの中から正解を選び  
ハガキに書いて送ってください。

①11月30日に行われた八郷駅伝競  
走大会は第何回大会？

- (A) 第10回 (B) 第11回  
(C) 第12回

②ことしの「八郷ふれあいまつり」  
が行われたのはいつ？

- (A) 11月9日 (B) 11月16日  
(C) 11月23日

③八郷町芸術祭の行事「八郷の作  
家〇人展」、〇の中に入る数字は？

- (A) 1 (B) 2 (C) 3

### 【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ117と書き、  
答えの記号(例1-A)、住所、氏  
名、年齢、世帯主と「私もひとこ  
と」へのご意見や広報の感想など  
を書いて送ってください。イラスト  
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図  
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成10年1月20日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡  
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙2月号

### 【広報クイズ115の当選者の発表】

正解は1-B、2-A、3-Bでした。  
応募総数41通、正解38通の中から  
次の10人が当選しました。

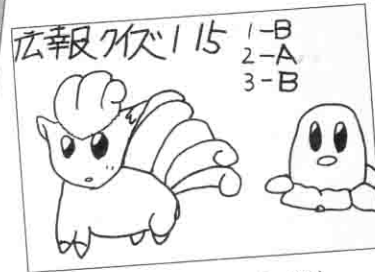
滝内きよ(根小屋) 山口節子(上  
林) 小林幸子(須釜) 海野まさ枝  
(大増) 氏家寛(下林) 小貫環(柿岡)  
藤田まさ子(小幡) 小原とく(片  
野) 富田静(下青柳) 中山みち子  
(柿岡) [敬称略]



さ ゆ き



藤崎 かおる



大増 高橋 希(10)

## ●やさと文芸

### 短 歌 吉田 次郎 選

紺碧の空に吸われし鳥の群何処の宿に翼休める

山崎 鈴木君 江

コスモスの花咲き薫る秋空に昇天をする友を吊つて

川又 関 清志

うら山にわき出す清水流れよる池面にあをきクレソソぞだつ

中戸 吉田とし

### 俳 句 綿引 鼓峰 選

着てもみし母の形見の秋裕

大塚 友部 ゆき江

澄む水に笹舟と影流れゆく

柿岡 小池 勇

くぐりたる蕎麦屋の芋芋のれんかな

東成井 大和田 やい子

### 俚 謡 鈴木 弦月 選

人生長旅苦しいけれど乗るな浮世の口車

柿岡 上曾 醉人

筑波裾野に幟を立てて柿が客呼ぶ俺が郷

小幡 塚谷 すみ江

空は青空お山は紅葉鬼怒の湯宿は人の波

山崎 小松 みき



遠江戸橋(町道柿岡〜小幡線)  
架替え工事。工事の様子も現在と  
はちよつとちがいます。  
(昭和三十四年十二月)

## やさとメモリー

# 「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の  
話題をおよせください  
(連絡先・秘書広聴課 内線一三四三)

## いろいろな施設をモニターが見学

町政モニター施設見学会が十一月二十日に行われ、十九人が参加しました。初めに、JAやさとの納豆工場、カゴメ株式会社工場を見学後、茨城県企業局新治浄水場で霞ヶ浦の水が浄化され、供給されるまでの説明を受けました。パープラインに通じる広域農道ではごみが散

乱している様子を目の当たりにし、環境クリンセンターで私たちの出したごみがどのように処理されるのか説明を聞き、見学。そして、最後に特別養護老人ホーム内の施設を見てまわりました。普段個人では見る機会が少ない施設を、参加者は興味深く見学していました。

## クワッケー大会に36チームが参加

秋季町民クワッケー大会が十一月十二日、総合運動公園で開催されました。当日は三十六チームが参加し、三ブロックに別れて、なごやかななかにも白熱した試合が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

〔Aブロック〕▽優勝瓦会第二 高橋▽準優勝仲村▽三位小幡鈴木A  
〔Bブロック〕▽優勝鶴沼B▽準優勝大増第三森田▽三位月岡一  
〔Cブロック〕▽優勝月岡二▽準優勝瓦会第一 谷島▽三位鶴沼A

## 地元の手作り品など出店

やさとクラフトフェアが十一月二十三日と二十四日の両日、大増のハンクグライダー着陸場で開催されました。こととして四回目を迎えたこの催しは、地元の作家・職人の手作りのお祭りです。

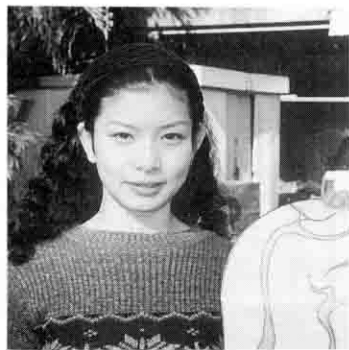
焼物・彫金・木工品・地場野菜などいろいろなお店が軒をならべ、会場はたくさんの人で埋め尽くされました。また、当日は多数のハンクグライダーが競演。ヘリコプター遊覧なども行われました。



ときめき  
ティータイム



桜井嘉子(下林・21歳)さん  
趣味はバスケットボールとスノーボード。これからスノーボードのシーズンなので滑りに行くのを楽しみにしています。



## あしがひびやうます

- 町社会福祉協議会へふれあいまつりバザー 益金一万円  
八郷町婦人防火クラブ
- 町社会福祉協議会へゴルフチャリティー募金一〇万円  
JAやさと
- 林小学校へ教育設備代として  
一 二六万八一〇〇円  
東京都 銜皆真 皆川四郎平
- 園部小学校へテント二帳  
山崎 鈴木利治

## 「郷土芸能の集い」にみたま踊りが参加

県主催の「郷土民俗芸能の集い」が十一月八日に八千代町で行われ、町から真家みたま踊りの皆さんが参加しました。真家みたま踊りは昭和四十六年に国指定無形民俗文化財となりました。現在も八百年の伝統を守り、毎年盆の十五日に

真家地区内の新盆の家を回り、仏の霊を慰める供養の踊りを続けています。舞台では、太鼓と笛と御詠歌に合わせ、浴衣にたすきがけ、白足袋に草履ほき、手甲姿に花笠をつけた踊り子が、身ぶり鮮やかに舞いを披露しました。



## 菊地茂雄さん自治大臣から表彰

町監査委員の菊地茂雄さん（柿岡・78歳）がこのほど、監査事務功労者として自治大臣から表彰を受けました。

菊地さんは陸軍士官学校を卒業後、陸軍に入隊し、陸軍少佐の時に終戦。その後書店を創立し、永年教科書供給功労者として文部大臣表彰を受賞。一方、八郷町議会議員を四期務められ、その間、町議会議長、町体育協合理事長を歴任し、自治功労により県町村会長から表彰されました。監査委員には昭和六十一年から三期選任され、現在に至っています。その

間、毎月の出納検査はもとより、定期監査や決算審査の充実に尽力され、住民監査請求に対しても、常に公正不偏の態度で的確に対処されてきました。また、郡監査委員連絡協議会会長も歴任され、監査委員の知識充実に意識高揚を図りました。「今回、計らずも監査事務功労者として自治大臣の表彰を受け、身の引き締まる思いです。今後はこれを契機として、これまでの仕事に精進を重ねる所存です」と、菊地さんは受賞の喜びとこれからの抱負を語ってくれました。



## 陛下に八郷特産の富有柿を献上

八郷町柿振興協議会ではことしも十一月十九日に、宮内庁および東宮御所へ富有柿を献上しました。

それに先立ち、献上前日の十八日に、役場会議室で箱詰め作業が行われました。

ことし献上された柿は、真家の長谷川新五郎さん、本多孝夫さん、千葉誠さん、宮ヶ崎の大槻忠さんらが丹精こめて生産したものです。持ち寄られた柿は関係者が丁寧に選別して木箱に詰められました。



○小幡小学校へ児童用自転車五台  
小幡 塚本昂次郎

## 八郷駅伝競走大会結果

- ▽一般男子の部①八郷ランナーズ（1時間55分35秒）②園部ランナーズ（1・59・55）③山崎走友会（2・0・35）④園部走友会（2・7・1）⑤JAやさと（2・12・58）⑥八郷町役場青年（2・23・12）▽中学男子の部①園部中A（1・52・29）②柿岡中A（1・52・35）③南中A（1・59・19）④柿岡中B（2・1・37）⑤園部中C（2・1・39）⑥園部中B（2・5・35）▽中学女子の部①園部中A（1・11・31）②南中A（1・13・58）③柿岡中B（1・15・45）④南中B（1・15・46）⑤柿岡中A（1・17・00）⑥園部中B（1・17・22）



行員矢のごとし。あれ、字を間違えたかな。証券・金融業界が大揺れし、サッカーで湧いた今年一年も残すところあとわずかです。さて、年末年始は新しい年に希望を託して、失楽園しないで、ものけにとりつかれたように仕事でもしようかな。ひとり言をつぶやきながら今年も終わります。（市）

# 文化の向上めざし多彩な催し

第一回八郷町芸術祭が十月三十一日からの「八郷の作家三人展」を皮切りに開催されました。町の芸術・文化を一層発展させようと運営委員会が発足し、町文化協会とともに主催。芸術に親しむ方々の日頃の活動成果を公開・展示し、町民の皆さんに觀賞する機会を提供するとともに、創る人、観る人が交流し、一体となって地域文化の発展向上に役立つことを目的としています。それに合わせて様々な催しが行われました。



町在住の芸術家3人の皆さんの協力を得て、この作品展が開催され、多くの方が来観されました。このような催しが町の文化発展につながっていくことでしょう。

まず芸術祭企画展として、「八郷の作家三人展」が十月三十一日から十一月五日まで役場会議室で開催されました。日本画の小林恒岳さん、陶芸の梶谷胖さん、彫刻の大槻孝之さんら、町在住の作家による作品展です。それぞれにすばらしい作品が展示され、町内外から訪れた皆さんはじっくりと作品に見入っていました。

また、「優秀映画鑑賞会」が十一月一日から三日にかけて、中央公民館で開催されました。昭和二十年から六十年にかけて制作された日本映画のなから、日替わりで二本ずつ上映しました。懐かしい映画に、久し振りに感動した方も多かったのではないのでしょうか。

芸術祭音楽部門として十一月八日には、「おしゃべりコンサート」が中央公民館で開催されました。出演は地元女性コーラスグループ「コール有明」、オカリナ奏者の小川由美子さん、ギターの飯田明さん、フルートの並里善史さん、

そして南アメリカの音楽グループ「ロス・トレス・アミーゴス」。美しいハーモニーやそれぞれの楽器の音色をじっくりと聞いたり、賑やかなフォルクローレ（南アメリカ地方の民俗音楽）を楽しんだり、会場いっぱいの方々は、生の音楽の素晴らしさを十分に堪能しました。

その他にも、書道展や写真展、盆栽展、菊花展、短歌・俳句・囲碁・将棋・俚謡の各大会、社交ダンスの集いなどが行われ、皆さんのみこころな作品が展示発表されました。

また、十二月七日には文化講演会として、女優の和泉雅子さんの講演が中央公民館で開催されました。テーマは「笑ってよ北極点、北極点到達までのあくなき挑戦」。和

泉さんの体験に基づいた説得力ある話には、会場の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

芸術祭は一月まで続き、生け花展が十三日から十八日まで、民謡・日本舞踊・吟詠大会が十八日に、それぞれ中央公民館で行われる予定です。



和泉雅子さんの講演



おしゃべりコンサートでのギターとフルート